

戦争法廃止 安倍政権打倒を



戦争法案廃案！安倍内閣退陣！総がかり連続行動

日本共産党

政府与党は、国民の反対を押し切って安保法制＝戦争法案を強行採決しました。平和主義・立憲主義を破壊し、民主主義を否定する歴史的暴挙を厳しく糾弾します。

日本共産党は戦争法廃止、安倍政権打倒へ全力をあげます。

戦争法（安保法制）廃止の 国民連合政府 の実現をよびかけ

日本共産党の志位和夫委員長は19日に記者会見し、「『戦争法廃止の国民連合政府』の実現をよびかけます」を発表しました。



記者会見をする志位和夫委員長

よびかけでは、戦争法（安保法制）は何よりも違憲立法であり、この存続を許すならば立憲主義、民主主義、法の支配というわが国の存立の土台が根底から覆されることになりかねないとして、「憲法違反の戦争法を廃止し、日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどすあらたなたたかきをおこそう」「安倍政権打倒のたたかきをさらに発展させよう」とよびかけました。

そして、憲法違反の戦争法を廃止するためには、衆議院と参議院の選挙で、廃止に賛成する政治勢力が多数を占め、国会で廃止の議決を行うことと同時

に昨年7月1日の安倍政権による集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回することが必要」「この2つの仕事を確実にやりとげるためには、安倍自公政権を退陣に追い込み、これらの課題を実行する政府をつくることがどうしても必要」として「戦争法廃止、立憲主義を取り戻す、一点で一致するすべての政党・団体・個人が共同して、「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」を樹立しよう、すみやかな衆議院の解散・総選挙を勝ち取ろうとよびかけ、連合政府を実現させるために、国政選挙で野党間の選挙協力をよびかけました。

全文は日本共産党
ホームページでご覧ください